

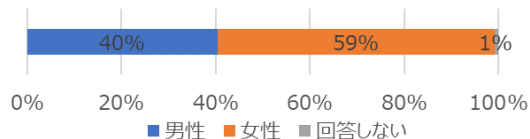
新型コロナウイルス感染症の旅行行動への影響に関するアンケート調査結果 (2020.8.11)

・実施主体 日本観光研究学会有志 (古屋秀樹・栗原剛・杉本興運(東洋大学),岡本直久(筑波大学),
清水哲夫(東京都立大学),野瀬元子(大東文化大学), 崔瑛(神奈川大学)) 下線部:コロナ特別プロジェクト定量チーム

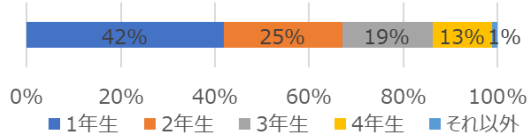
1. 目的 大学生の旅行実施に対する意向とその影響要因の把握を行うとともに、観光地における対策案の検討に資することを目的とする。
2. 調査項目 (18設問)
 1. 個人属性 性別,学年,所属学部,居住地
 2. 新型コロナ感染症に対する認識 認知するリスクの程度,情報収集,感染症への備え
 3. 旅行関連 過去1年間の国内宿泊・海外旅行,GoToトラベルキャンペーンの認知等
 4. 国内観光旅行の実施意向 意向の有無
 - ・意向あり:実施予定時期,目的地までの距離,目的地選択時の考慮要因
 - ・意向なし:行きたくない理由
 5. 海外旅行の実施意向 意向の有無・目的地選択時の考慮要因
3. 調査方法
 - ・Webアンケート調査形式 (2020年7月22日(水)~8月7日(金))
 - ・7/22 GoToトラベルキャンペーン開始,7/23 東京都 366人感染確認,
7/29 1日の感染者 1,000人超 岩手で初確認,7/31 東京都463人の新規感染者
 - ・依頼方法 授業,Eメールなどをはじめとする個人的な依頼
 - ・サンプル数 981

1.個人属性(1) N=981

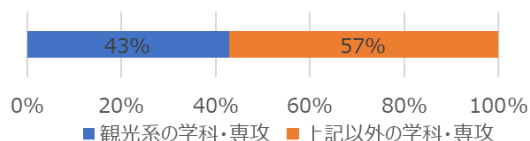
①性別 女性が約6割を占める.



②学年 1年生・2年生:全体の67%



③所属学科等 観光系以外:57%



クロス集計 (性別・学年・所属別)

	観光系の学科・ 専攻	上記以外の学科・ 専攻	総計
男性	135 (33%)	256 (46%)	391 (40%)
大学1年生	55 (13%)	114 (21%)	169 (17%)
大学2年生	42 (10%)	60 (11%)	102 (11%)
大学3年生	24 (6%)	45 (8%)	69 (7%)
大学4年生	14 (3%)	37 (7%)	51 (5%)
女性	280 (67%)	288 (52%)	568 (59%)
大学1年生	101 (24%)	134 (24%)	235 (24%)
大学2年生	84 (20%)	61 (11%)	145 (15%)
大学3年生	57 (14%)	59 (11%)	116 (12%)
大学4年生	38 (9%)	34 (6%)	72 (7%)
回答しない	0%	7 (1%)	7 (1%)
総計	415 (100%)	551 (100%)	966 (100%)

特定セルにサンプルが集中していない
(大きな偏りは存在しないとみなす)

女性・低学年・観光系学科以外の所属：多くを占める

1.個人属性(2)

クロス集計 (居住地×学年)

④居住地
南関東が64%を占める。

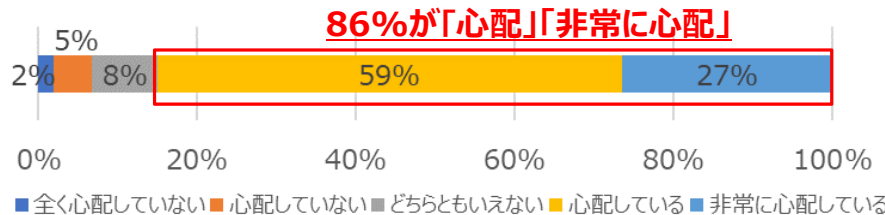
周辺確率から大きく乖離しているとはいえない。
↓
以降の分析では、
単純集計に加えて、
・性別 (男女)
・学年 (学年別)
・専攻 (観光/それ以外)
・居住地 (南関東/それ以外)
のクロス集計を行う。

居住地	サンプル数					割合				
	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
北海道	4	1	1	1	7	1%	0%	1%	1%	1%
東北地方	12	2	3	0	17	3%	1%	2%	0%	2%
茨城県	10	7	15	8	40	2%	3%	8%	7%	4%
栃木県	3	1	0	2	6	1%	0%	0%	2%	1%
群馬県	4	3	0	1	8	1%	1%	0%	1%	1%
埼玉県	38	55	40	20	153	9%	22%	21%	16%	16%
千葉県	20	13	8	17	58	5%	5%	4%	14%	6%
東京都	75	61	37	27	200	18%	25%	20%	22%	21%
神奈川県	101	28	60	18	207	25%	11%	32%	15%	21%
甲信越	16	0	6	1	23	4%	0%	3%	1%	2%
北陸地方	3	2	0	0	5	1%	1%	0%	0%	1%
中部地方	112	71	16	25	224	27%	29%	9%	20%	23%
近畿地方	3	1	1	0	5	1%	0%	1%	0%	1%
中国地方	1	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	0%
四国地方	2	2	0	0	4	0%	1%	0%	0%	0%
九州・沖縄地方	5	0	0	0	5	1%	0%	0%	0%	1%
その他	0	0	0	3	3	0%	0%	0%	2%	0%
合計	409	247	187	123	966	100%	100%	100%	100%	100%

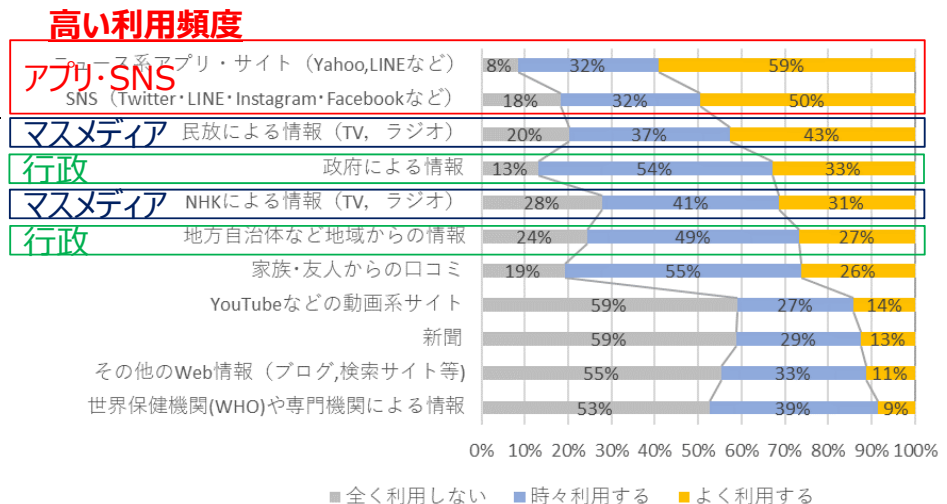
個人属性 女性・低学年・観光系学科以外・南関東が多くを占める ³

2.新型コロナウイルス感染症に対する認識(1)

⑤コロナ感染症の
感染リスクへの心配



⑥信頼できる
情報入手のための
利用情報源



⑤新型コロナウイルス感染症の感染リスクをどの程度心配していますか？
⑥新型コロナウイルス感染症について信頼できる情報入手しようとする際、下記に示す各情報源をどの程度利用しますか。

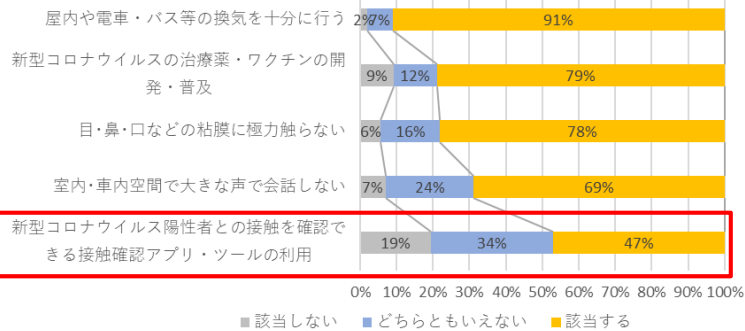
2.新型コロナウイルスに対する認識(2)

N=981

⑦ニューノーマル実現のための望ましい取組み

※三密の回避等は前提

**他の取組みより
低い指摘**



⑤コロナ感染症の感染リスクへの心配

・86%以上が「心配」

⑥信頼できる情報入手のための情報源

・ニュースアプリ・SNSなど(スマホ経由)が多い,
・政府・地方自治体やNHK・民放の利用が多い⇔新聞・専門機関は少ない

⑦ニューノーマル実現のための望ましい取組み

・換気,粘膜を触らない等,すぐに実施可能なもの+ワクチンの指摘が多い
⇔接触アプリは少ない

⑦新型コロナウイルスの流行後、安全な日常生活のために実施が望ましい取組み・施策について、お答えください。 5
なお、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、手指の消毒や検温の実施などの体制は、すでに整っているとの前提で回答してください。

2.新型コロナウイルスに対する認識－クロス集計

- 下表は、各設問の回答(項目に示した選択肢)の指摘率(%)を示す。
- サンプル全体より、属性別指摘率が-5%/+5%を超えるものを■/■色で示す。

若干積極的な
情報収集の傾向

設問	項目(単位:%)	全体	性別		学年				専攻		居住地		
			男性	女性	1年生	2年生	3年生	4年生	観光系	それ以外	東京	その他南関東	それ以外
⑤新型コロナウイルス感染症の感染リスク：非常に心配	「非常に心配」	27%	24%	28%	24%	29%	27%	29%	30%	24%	23%	27%	29%
⑥信頼できる情報源：WHO、専門機関による情報	「よく利用する」	9%	10%	7%	8%	8%	9%	11%	10%	8%	3%	9%	12%
⑥信頼できる情報源：政府による情報	「よく利用する」	33%	32%	34%	36%	31%	30%	36%	38%	29%	32%	29%	38%
⑥信頼できる情報源：地方自治体など地域からの情報	「よく利用する」	27%	26%	28%	25%	28%	28%	30%	31%	23%	22%	22%	35%
⑥信頼できる情報源：NHKによる情報	「よく利用する」	32%	30%	33%	30%	28%	37%	38%	33%	30%	30%	33%	30%
⑥信頼できる情報源：民放による情報	「よく利用する」	43%	36%	48%	41%	41%	50%	44%	50%	37%	49%	47%	34%
⑥信頼できる情報源：新聞	「よく利用する」	13%	12%	13%	10%	13%	16%	15%	15%	11%	12%	12%	13%
⑥信頼できる情報源：ニュース系アプリ・サイト (Yahoo,LINE等)	「よく利用する」	60%	55%	63%	56%	63%	61%	60%	65%	55%	59%	60%	59%
⑥信頼できる情報源：SNS (ツイッター・LINE・インスタ・Facebook等)	「よく利用する」	50%	45%	53%	48%	51%	52%	51%	53%	47%	49%	49%	51%
⑥信頼できる情報源：YouTubeなどの動画系サイト	「よく利用する」	14%	16%	12%	15%	17%	10%	12%	14%	14%	14%	12%	16%
⑥信頼できる情報源：その他のWeb情報 (ブログ,検索サイト等)	「よく利用する」	11%	11%	11%	12%	10%	12%	9%	12%	11%	9%	11%	13%
⑥信頼できる情報源：家族・友人からの口コミ	「よく利用する」	26%	22%	29%	28%	24%	22%	30%	29%	24%	25%	25%	29%
⑦ニューノーマルのために望ましい取組み・施策：目・鼻・口などの粘膜に触らない	「該当する」	78%	74%	81%	78%	79%	78%	77%	80%	77%	81%	80%	74%
⑦ニューノーマルのために望ましい取組み・施策：室内・車内で大きな声で話さない	「該当する」	69%	65%	72%	69%	71%	66%	68%	69%	68%	68%	68%	70%
⑦ニューノーマルのために望ましい取組み・施策：屋内や電車等の換気を十分に行う	「該当する」	91%	90%	92%	91%	91%	93%	89%	92%	90%	94%	93%	86%
⑦ニューノーマルのために望ましい取組み・施策：接触確認アプリ・ツールの利用	「該当する」	47%	46%	47%	45%	49%	47%	48%	48%	46%	45%	48%	47%
⑦ニューノーマルのために望ましい取組み・施策：治療薬・ワクチンの開発・普及	「該当する」	79%	80%	78%	78%	79%	81%	77%	79%	79%	78%	83%	74%

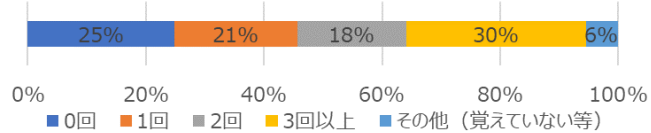
■：全体平均値より5%減、■：全体平均値より5%増

個人属性との明瞭性を見出すことはできない。

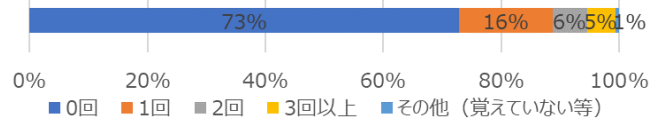
3. 旅行関連

N=981

⑧過去1年間の
国内宿泊観光旅行回数
平均値 1.49回以上/年

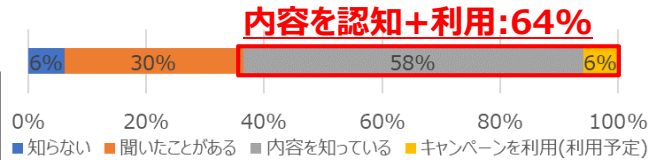


⑨過去1年間の
海外旅行回数
平均値 0.42回以上/年



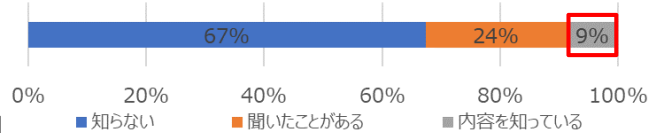
⑩GoToトラベル
キャンペーンの認知等

【GoToトラベル事業の概要】1) 国内旅行を対象に宿泊・日帰り旅行代金の1/2相当額を支援, 2) 支援額の内, ① 7割は旅行代金の割引に, ② 3割は旅行先で使える地域共通クーポンとして付与, 3) 1人1泊あたり2万円が上限 (日帰り旅行については, 1万円が上限), 4) 連泊制限や利用回数の制限なし。



⑪「新しい旅の
エチケット」の認知
「認知」9%にとどまる

旅行者が感染リスクを避けながら安全に旅行できるよう, 観光関連事業者により, 旅行時に感染防止のために留意が望ましい事項がまとめられたもの。

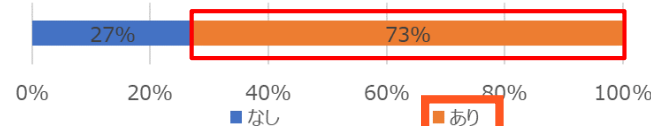


- ⑧昨年おこなった国内の宿泊観光旅行の回数をお答えください, ⑨昨年おこなった海外旅行の回数をお答えください, ⑩政府が実施する「Go to トラベルキャンペーン」の認知・利用についてお答えください, ⑪旅行連絡会が取りまとめた旅行者向け「新しい旅のエチケット」の認知についてお答えください。

4. 国内観光旅行の実施意向(1)

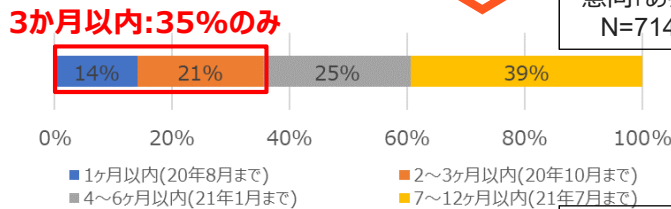
N=981

⑫今後1年以内の
国内観光旅行の実施意向

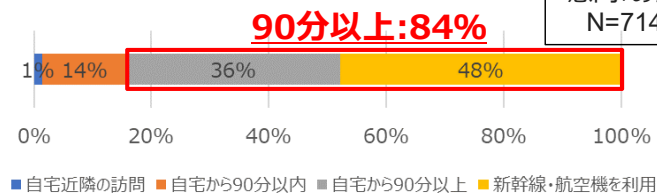


⑬旅行の実施予定時期
3か月以内:35%のみ

※GoToトラベル期限内:60%
(2021年1月まで)



⑭想定する移動距離
近観光・マイクロツーリズムなど近隣での観光に着目されているが, それと異なる回答傾向。



90分の設定理由 高速道路の平均旅行速度が78.4km/h(昼間12時間, 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査)のため, 下記に示す80km以上移動に必要な時間を90分と概算設定した。(都道府県を超えた移動と仮定)
「国内日帰り旅行」: 日常生活圏を離れたところへの日帰りの旅行で, 目安として片道の移動距離が80km以上または所要時間(移動時間と滞在時間の合計)が8時間以上の場合。(観光庁による定義)

- ⑫あなたは, 今後1年以内に国内観光旅行に行きたいと思いませんか?
⑬次の国内観光旅行は, いつ頃の実施を考えますか?
⑭次の国内観光旅行では, どれくらいの移動距離を想定しますか?

3.旅行関連, 4.国内観光旅行の実施意向(1) とのクロス集計

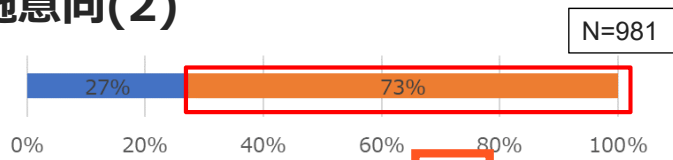
設問	項目(単位:%)	全体	性別		学年				専攻		居住地		
			男性	女性	1年生	2年生	3年生	4年生	観光系	その他	東京	その他南関東	その他
⑧2019年の国内宿泊観光旅行	参加率	70%	67%	71%	55%	78%	84%	77%	77%	64%	76%	73%	61%
⑨2019年の海外旅行	参加率	27%	22%	30%	13%	20%	52%	39%	34%	21%	36%	29%	18%
⑩「Go to トラベルキャンペーン」認知・利用率	該当率	64%	59%	67%	60%	67%	69%	63%	75%	55%	69%	71%	51%
⑪「新しい旅のエチケット」聞いたことがある・内容を認知	該当率	33%	32%	33%	30%	39%	30%	35%	40%	27%	30%	35%	31%
⑫今後1年以内の国内観光旅行実施意向	あり	73%	69%	76%	66%	76%	76%	82%	83%	65%	86%	78%	59%
⑬次の国内観光旅行の実施時期(⑫=有)	11月以降	39%	39%	40%	44%	42%	30%	36%	34%	44%	32%	38%	48%
⑭次の国内観光旅行の移動距離(想定)(⑫=有)	片道90分以上	84%	85%	84%	80%	85%	87%	93%	82%	87%	89%	84%	80%

- 高学年, 観光系専攻, 東京・南関東** ⇒国内宿泊・海外旅行参加:多
 ⇒GoToキャンペーン認知:高
 ⇒国内観光旅行実施意向:高
 - 南関東以外(居住地)**⇒次の国内観光旅行の実施時期:11月以降 48%
- ※複数の属性・要因が影響するため,その影響を見極める必要あり.

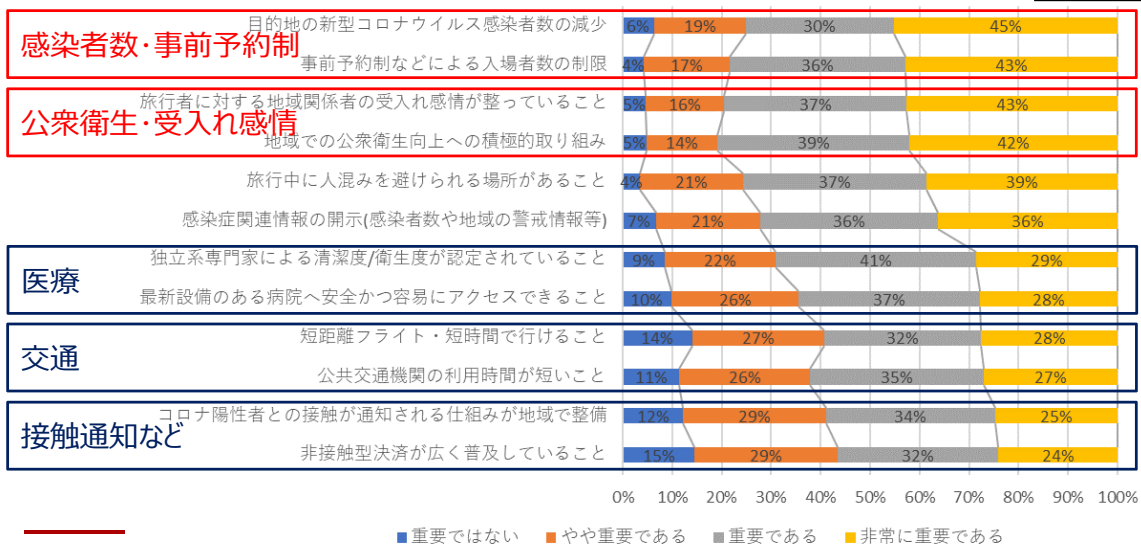
南関東以外
感染症への
高リスク認知

4.国内観光旅行の実施意向(2)

⑫今後1年以内の国内観光旅行の実施意向



⑮旅行目的地を選ぶ際に重視する要因

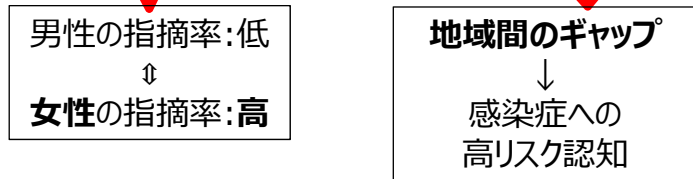


⑮旅行目的地を選ぶ際, 下記の各項目を重要と考えますか?

4.国内観光旅行の実施意向(2) 目的地選択要因とのクロス集計

設問	項目(単位:%)	全体	性別		学年				専攻		居住地		
			男性	女性	1年生	2年生	3年生	4年生	観光系	それ以外	東京	その他南関東	それ以外
⑮旅行目的地の選択要因：旅行中に人混みを避けれる	「非常に重要」	39%	35%	41%	41%	34%	41%	40%	42%	35%	38%	39%	39%
⑮旅行目的地の選択要因：目的地の感染者数の減少	「非常に重要」	45%	43%	47%	51%	44%	43%	38%	48%	43%	37%	45%	52%
⑮旅行目的地の選択要因：感染症関連情報の開示(警戒情報等)	「非常に重要」	36%	28%	41%	39%	36%	34%	33%	36%	36%	26%	39%	41%
⑮旅行目的地の選択要因：地域での公衆衛生向上への取組み	「非常に重要」	42%	35%	46%	49%	32%	42%	44%	45%	39%	36%	46%	42%
⑮旅行目的地の選択要因：事前予約制等の入場者数制限	「非常に重要」	43%	34%	48%	48%	40%	34%	46%	45%	41%	37%	44%	46%
⑮旅行目的地の選択要因：陽性者との接触が連絡される仕組み	「非常に重要」	25%	23%	26%	27%	24%	24%	20%	26%	23%	19%	24%	32%
⑮旅行目的地の選択要因：旅行者に対する受入れ感情が整っている	「非常に重要」	43%	41%	43%	45%	40%	47%	37%	46%	39%	34%	49%	40%
⑮旅行目的地の選択要因：専門家による清潔度/衛生度の認定	「非常に重要」	29%	26%	30%	36%	27%	26%	19%	31%	26%	24%	29%	32%
⑮旅行目的地の選択要因：病院へ安全かつ容易にアクセス可能	「非常に重要」	28%	27%	28%	31%	31%	22%	19%	29%	26%	19%	31%	30%
⑮旅行目的地の選択要因：非接触型決済が広く普及	「非常に重要」	24%	22%	25%	26%	25%	20%	21%	26%	23%	18%	24%	29%
⑮旅行目的地の選択要因：公共交通機関の利用時間が短いこと	「非常に重要」	27%	22%	30%	31%	27%	23%	25%	28%	26%	18%	26%	37%
⑮旅行目的地の選択要因：短距離・短時間で行けること	「非常に重要」	28%	24%	30%	29%	30%	22%	29%	29%	26%	21%	27%	35%

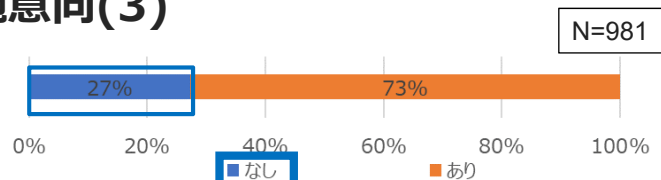
■：全体平均値より5%減， ■：全体平均値より5%増
 ※旅行意向ありサンプルに対する構成比率



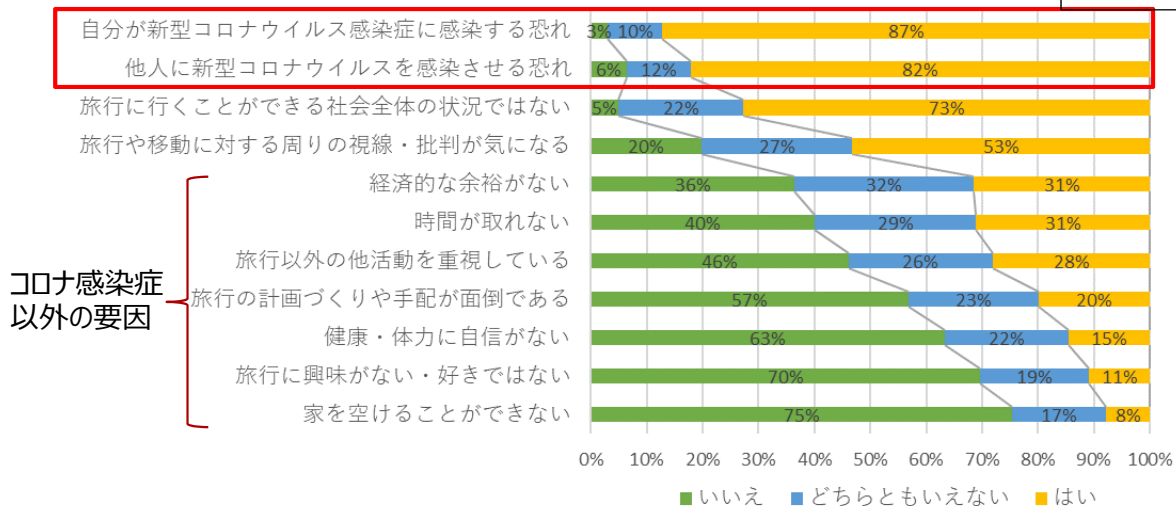
- 目的地選択において **女性,南関東以外で“感染症要因の考慮:高”**

4.国内観光旅行の実施意向(3)

⑫今後1年以内の国内観光旅行の実施意向



⑯国内観光旅行・意向なしの理由



意向なしの理由 **感染する/させる恐れ** > 社会の状況・周りの視線

⑯今後1年以内に国内観光旅行に行きたくない理由として、下記の各項目はあてはまりますか？

4.国内観光旅行の実施意向(3) 国内観光旅行・意向なしの理由 クロス集計

設問	項目(単位:%)	全体	性別		学年				専攻		居住地		
			男性	女性	1年生	2年生	3年生	4年生	観光系	それ以外	東京	その他 南関東	それ以外
⑩国内観光旅行・非実施理由:感染症に感染する恐れ	「該当する」	87%	88%	87%	86%	92%	84%	86%	91%	86%	83%	86%	89%
	「該当する」	82%	80%	84%	86%	70%	84%	82%	83%	82%	87%	80%	83%
	「該当する」	53%	48%	59%	57%	50%	39%	68%	61%	50%	67%	47%	54%
	「該当する」	73%	69%	76%	74%	73%	70%	68%	79%	71%	87%	66%	74%
⑪国内観光旅行・非実施理由:時間が取れない	「該当する」	31%	31%	30%	33%	20%	41%	27%	24%	34%	23%	35%	30%
	「該当する」	31%	38%	24%	34%	18%	34%	45%	29%	32%	23%	31%	33%
	「該当する」	15%	14%	15%	19%	7%	14%	9%	7%	17%	10%	15%	15%
	「該当する」	20%	21%	19%	22%	17%	18%	14%	14%	22%	33%	20%	17%
	「該当する」	8%	10%	6%	7%	7%	11%	5%	6%	9%	13%	11%	5%
	「該当する」	28%	39%	18%	24%	23%	36%	45%	23%	30%	27%	26%	30%
	「該当する」	11%	13%	9%	12%	5%	7%	23%	3%	14%	13%	5%	14%

■ : 全体平均値より5%減, ■ : 全体平均値より5%増
 ※旅行意向なしサンプルに対する構成比率

・旅行実施意向なしの回答者

・女性・観光系専攻・東京居住者で、感染症関連の指摘：多

※一方、「観光系専攻、東京・南関東」で「国内観光旅行実施意向:高」⇔意向なし層では高いリスク認知
 ⇒情報を入手して、「大丈夫だ」と考えるか、「やっぱりリスクが高いな」と考えるか、2極化しているか？

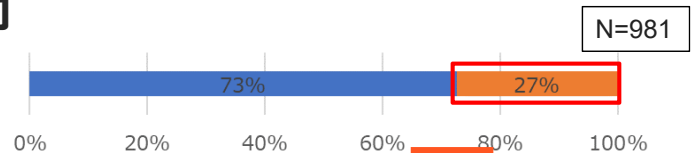
・男性で一般的な要因を指摘する率が若干高い。

13

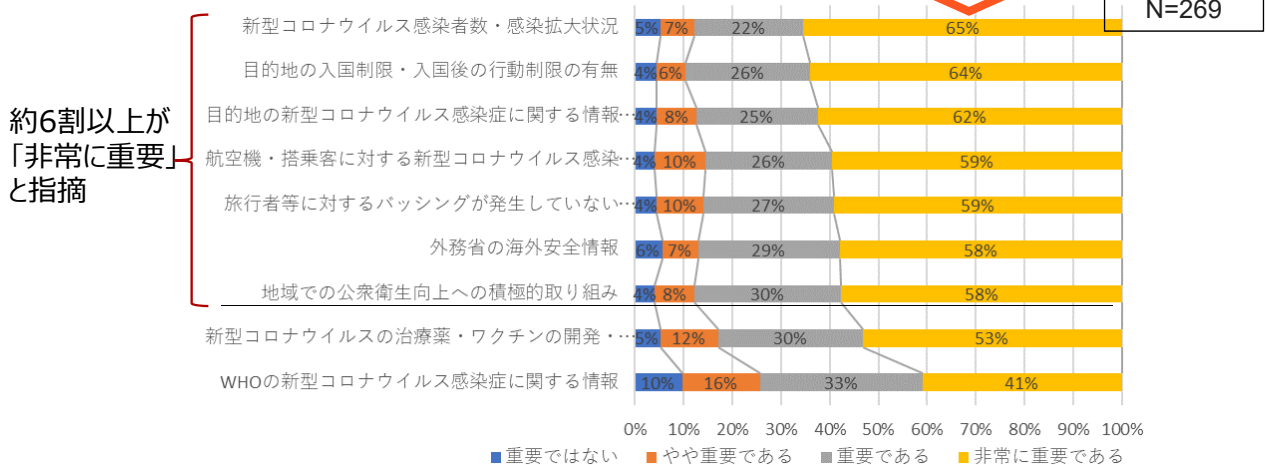
5.海外旅行の実施意向

⑰今後1年以内の

海外旅行の実施意向



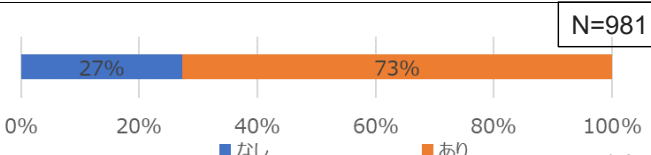
⑱旅行目的地を選ぶ際に重視する要因



参考

⑫今後1年以内の

国内観光旅行の実施意向



⑰あなたは、今後1年以内に海外旅行に行きたいと思いますか？

⑱旅行目的地を選ぶ際、下記の各項目を重要と考えますか？

14

5.海外旅行の実施意向 クロス集計

設問	項目(単位:%)	全体	性別		学年				専攻		居住地		
			男性	女性	1年生	2年生	3年生	4年生	観光系	それ以外	東京	その他南関東	それ以外
⑰今後1年以内の海外旅行実施意向	あり	27%	27%	28%	22%	25%	36%	33%	31%	25%	33%	31%	20%
⑱海外旅行目的地の選択要因：感染者数・感染拡大状況	「非常に重要」	65%	57%	71%	64%	72%	64%	63%	65%	66%	71%	67%	58%
⑱海外旅行目的地の選択要因：目的地の感染症情報の提供	「非常に重要」	62%	54%	68%	66%	62%	61%	60%	64%	61%	72%	62%	54%
⑱海外旅行目的地の選択要因：目的地の入国制限等行動制限	「非常に重要」	64%	56%	70%	59%	72%	63%	68%	64%	64%	77%	64%	52%
⑱海外旅行目的地の選択要因：公衆衛生向上への取組み	「非常に重要」	58%	46%	65%	62%	49%	57%	63%	60%	55%	70%	55%	51%
⑱海外旅行目的地の選択要因：目的地の受入れ体制が整備	「非常に重要」	59%	46%	67%	58%	59%	63%	58%	63%	56%	67%	60%	51%
⑱海外旅行目的地の選択要因：搭乗客に対する感染検査	「非常に重要」	59%	50%	66%	55%	61%	61%	65%	60%	59%	64%	60%	54%
⑱海外旅行目的地の選択要因：治療薬等の開発・普及状況	「非常に重要」	53%	50%	56%	46%	67%	55%	48%	53%	53%	54%	54%	51%
⑱海外旅行目的地の選択要因：外務省の海外安全情報	「非常に重要」	58%	51%	63%	52%	64%	61%	63%	63%	54%	65%	60%	48%
⑱海外旅行目的地の選択要因：WHOの感染症情報	「非常に重要」	41%	31%	47%	38%	49%	37%	40%	44%	38%	48%	40%	37%

■：全体平均値より5%減, ■：全体平均値より5%増
 ※旅行意向ありサンプルに対する構成比率

目的地選択において **女性,東京**で“**感染症要因**”の指摘:高

15

まとめ 新型コロナウイルス感染症の旅行行動への影響に関するアンケート調査結果

1.個人属性

- 女性(6割)・低学年(67%)・観光系学科以外の所属(57%)・南関東(約6割)が多くを占める

2.新型コロナ感染症に対する認識

- コロナ感染症の感染リスクへの心配 86%以上が「心配」
- 信頼できる情報入手のための情報源 ニュースアプリ・SNSなど(スマホ経由)が多い
- ニューノーマル実現のための望ましい取組み
 - 換気,粘膜を触らない等,すぐに実施可能なもの+ワクチンの指摘が多い⇒接触アプリは少ない

3.旅行関連 GoToトラベルCの認知:64%,「新しい旅のエチケット」の認知9%にとどまる

4.1年以内の国内観光旅行の実施意向

- 実施意向あり:73%(高い旅行実施意向)
 - 予定時期 11月以降を想定-65%,目的地 90分以上離れた地域を選好-84%
 - 目的地選択・重視要因 感染者数・事前予約制,公衆衛生・受入れ感情>医療・交通・接触通知
- 実施意向なし(25%) 意向なしの理由 感染する/させる恐れ>社会の状況・周りの視線

5.1年以内の海外旅行の実施意向 あり:27%

- 目的地選択・重視要因 1)感染状況・2)入国制限・3)情報提供・4)検査体制・5)受け入れ環境・6)外務省海外安全情報・7)公衆衛生の取組み・が6割以上で「非常に重要」

女性の高いコロナ感染症リスクへの関心,情報保有者の2極化に注視する必要がある

16

謝辞 アンケート調査の回答者, Webアンケート依頼を快く行っていただきました皆様に感謝申し上げます。

参考文献 トップアドバイザー「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する旅行者調査」,立教大学観光学部西川ゼミ「新型コロナウイルス流行による学生の旅行意識への影響に関する調査」,JTBF「新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向」,日本観光研究学会「新型コロナ・特別プロジェクト」緊急アンケート調査